

平成21年度教育研究業績書

氏名 松川 恭子

最終学歴	大阪大学大学院人間科学研究科人間学専攻 博士号（人間科学）（2006年3月）
取得学位	博士（人間科学）
所属学会	日本文化人類学会、日本南アジア学会、「宗教と社会」学会
現在の専門分野	文化人類学
研究課題	インド西部ゴア州における多言語状況の文化人類学的研究、ゴア社会の大衆劇 シアトルの実践とキリスト教徒アイデンティティの関係についての研究、マルチ メディア（特にデジタル・ストーリーテリングの手法）を利用した地域社会理 解の実践に向けた方法論研究

【研究上の特記事項】

平成21年度科学研究費補助金（若手研究（B））「インドのナショナルな大衆文化の系譜と演劇にみる地域の想像力の展開 - ゴアの場合」研究代表者

大学共同利用機関法人人間文化研究機構 地域研究推進事業「現代インド地域研究」国立民族学博物館拠点 拠点共同研究員

国立民族学博物館共同研究「キリスト教文明とナショナリズム 人類学的研究」館外研究員

海外調査2回（インド・ゴア州）

【教育上の特記事項】

奈良大学地域連携教育研究センター事業4「地域におけるノからの情報発信・交流ネットワークづくり わたしたちの場所の「昔・いま・未来」」主担当者として平城小学校・平城公民館と連携した学生の活動を支援した。また、同センター事業5「津風呂地域における歴史アーカイブ 貴重資料から歴史を紐解く過去と現在」の担当者として調査の実施と奈良大学博物館企画展「ダム建設にともなう集落の移転と物に託された記憶 奈良市津風呂町の歴史デジタルアーカイブ」とりまとめにおいて、学生の指導を行った。

大和郡山市で「金魚に学ぶクリエイション」を実施しているグループ、K-Poolプロジェクトと連携し、全国金魚すくい選手権大会の会場で「金魚で？お絵描き教室」を開催した。

【社会的活動】

奈良県立西の京高等学校「地域創生コース」奈良大学特別講義「生きられた経験」に出会う方法：フィールドワーク」（平成21年6月4日）を担当。

講演「奈良大学創立40周年記念」奈良大学社会学部社会調査学科開設記念公開講座 夏の夜話2009「子どものためは、大人のため?? 地域交流ネットワークづくりの課題?」（平成21年7月24日）を担当。

奈良県立法隆寺国際高等学校「平成21年度国際歴史文化フォーラム」特別講演「意外に身近なインド文化 奈良周辺から考える」（平成22年1月9日）を担当。

奈良市立平城小学校「夢・教育プラン」協議会コーディネーター

【学内活動】（学内職歴を含む）

学生相談室運営委員、学生相談員、国際交流委員、セクシュアル・ハラスメント相談員、地域連携教育研究センター運営委員、男子バスケットボール部顧問、バスケットボール・サークル顧問、映像研究サークル顧問

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
（著書）				
（学術論文） 「『ことば』の科学？ インド、ゴア社会におけるコーンカニー語文字問題についての考察」	単	2010年3月	『奈良大学紀要』第38号、101-113頁	インド、ゴア社会におけるコーンカニー語を筆記する文字論争を中心に、言語の筆記と音声の二つの側面について考察を行った。
（学会発表） “How to Make Goan Cuisine: Migration and Food Culture among the Catholics of Goa, India”	単	2009年8月	A paper presented at the 6th International Convention of Asia Scholars (ICAS 6, Daejeon, Korea)	ゴアのキリスト教徒のあいだにみられるポルトガルの影響を受けた食文化が、グローバル・レベル、ナショナル・レベル、ローカル・レベルでどのように表象されているのかを、主に料理本の事例を使って考察した。
インドにおける近代演劇の地域的展開 ゴア州の大衆演劇シアトルを事例として	単	2009年10月	日本南アジア学会第22回全国大会)	インド・ゴアで演じられている演劇、シアトルをインドにおける近代演劇と位置づけ、考察を行った。
（その他） 「キリスト教徒を演じる インド・ゴア州の大衆演劇シアトル」	単	2009年12月	『民博通信』No.127、12-13頁	ゴアのキリスト教徒のあいだで演じられている演劇シアトルについて紹介した。